

キットSDS表紙

文書ID: A32645-75: バージョン AN
改訂日 (年/月/日) 2023/12/29
最終改訂日 (年/月/日) 2023/10/04

製品に関する情報

製品名 RNAAdvance Tissue

製品番号 A32645

その他製品情報

この製品は、EUおよびUK REACH認可の対象となる物質を含みます。関係するEUおよびUK REACH認可番号および下流使用者の義務の詳細に関するコンポーネントSDS (安全性データシート) のセクション15を参照してください。

構成

内容 Lysis LBE
Bind BBC
Wash WBD
蛋白分解酵素 K
PK Buffer

輸送情報

本品はICAO、IATA DGR、IMDG、US DOT、欧州ADRおよびRID、またはカナダTDGでの輸送上の規制はありません。



安全性データシート

文書ID: A32645-75 バージョン AN
改訂日 (年/月/日) 2023/12/29
最終改訂日 (年/月/日) 2023/10/04

1. 化学品及び会社情報

製品特定名

製品名

Lysis LBE

製品番号

P/Nの構成 A32645

物質 / 混合物の関連用途及び推奨されない用途

製品の使用

体外診断用医薬品以外。

本安全性データシートの供給者の詳細情報

製造業者

Beckman Coulter, Inc.
250 S. Kraemer Blvd
Brea, CA 92821, U.S.A.
Tel: 800-854-3633

サプライヤ

日本
ベックマン・コールター株式会社
135-0063
東京都江東区有明3-5-7 TOC有明ウ
エストタワー
電話番号: +81 0120 566 730

e-mail アドレス

SDSNT@beckman.com

緊急時電話番号

電話番号(24時間対応)

Chemtrec 緊急連絡電話番号 米国 800-424-9300、国際電話 (001) 703-527-3887

販売業者および緊急時の連絡先

最寄りの営業所および緊急電話番号に関しては別紙一覧表 (書類番号: [472050](#)) を参照してください。

日本
最寄りの保健所、消防機関、警察署
電話番号: 最寄りの保健所、消防機関、警察署の番号

2 危険有害性の要約

物質 / 混合物の分類

製品説明

混合物

2 危険有害性の要約 (続き)

無色; 液体; 無臭

EC 1272/2008 (CLP/GHS)による分類

眼に対する重篤な損傷性 区分 1, H318

皮膚腐食性 区分 1C, H314

US-OSHA (HCS 29 CFR 1910.1200)およびUN GHSによる分類

急性毒性 (経口)、区分 5

急性毒性 (経皮)、区分 5

眼に対する重篤な損傷性 区分 1

皮膚腐食性 区分 1C

ラベル要素

EC 1272/2008 (CLP/GHS)、US-OSHA、およびUN GHSに準拠 危険有害成分

チオシアン酸グアニジン

ポリオキシエチレートオクチルフェノール

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H303 飲み込むと害を及ぼすこともあります。

H313 皮膚に接触すると有害のおそれ。

H314 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。

危険有害性情報

予防

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。

反応

P301+P330+P331 飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

P303+P361+P353 皮膚(または髪)に付着した場合:皮膚を水で洗うこと。

P304+P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P305+P351+P338 目に入った場合: 水で数分間注意深く洗ってください。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。

P310 「中毒センター」または医師にただちに連絡してください。

P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

保存

P405 施錠して保管すること。

廃棄

P501 地域/国の規制にしたがって内容物/容器を廃棄すること。

製品ラベルには非常に重大な危険有害性情報が表示されます。

2 危険有害性の要約 (続き)

他の危険有害性

REACH認可番号

REACH/23/15/20, REACH/23/15/21, REACH/23/15/22, REACH/23/15/23,
REACH/23/15/24, REACH/23/15/25, REACH/23/15/26, REACH/23/15/27

UKREACH/22/03/2

PBTおよびvPvB評価の結果

PBT: 該当しない。

vPvB: 該当しない。

本製品には、環境または健康に関して、0.1%以上の濃度の内分泌攪乱特性を有する物質が含まれています。

健康に関する詳細はセクション11の毒物に関する情報を参照してください。

3 組成及び成分情報

混合物		純粋成分の災害分類		
危険有害成分:		EU 1272/2008 CLP/GHS	GHS	注記
化学物質名	重量による%			
チオシアン酸グアニジン CAS番号 593-84-0 EINECS# 209-812-1 インデックス番号 情報なし	20 - 25	Acute Tox. Dermal 4, H312 Acute Tox. Inhal. 4, H332 Aquatic Longterm 3, H412 急性毒性 (経口) 4, H302 皮膚腐食性1C, H314 眼の損傷性1, H318 急性毒性推定値 (ATE) ATE 経皮 = 1100 mg/kg ATE 吸入—蒸気 = 11 mg/L ATE 経口 = 500 mg/kg	Acute Tox. Dermal 4, H312 Acute Tox. Inhal. 4, H332 Aquatic Longterm 3, H412 急性毒性 (経口) 4, H302 皮膚腐食性1C, H314 眼の損傷性1, H318	
ポリオキシエチレートオクチルフェノール CAS番号 9002-93-1 EINECS# 情報なし インデックス番号 情報なし	< 1	急性毒性 (経口) 4, H302 眼の損傷性1, H318 長期水生毒性2, H411 急性毒性推定値 (ATE) ATE 経口 = 1800 mg/kg	急性毒性 (経口) 4, H302 眼の損傷性1, H318 長期水生毒性2, H411	EDe, EUAUTH, SVHC, UKAUTH

EDe - 内分泌攪乱特性 (環境)

EUAUTH - EU - REACH (1907/2006) 付属文書 XIV に基づく認可の対象

SVHC - Substance of very high concern (SVHC - 高懸念物質)

UKAUTH - UK - REACH 付属文書 XIV に基づく認可の対象

職業ばく露限界についてはセクション8参照

その他の規制情報についてはセクション15参照

危険有害性分類と危険有害性情報の記述については、セクション16を参照

4 応急措置

応急措置についての記述

吸入した場合

もし本品を吸入した場合、吸入者を空気の新鮮な場所へ移動させてください。呼吸をしていない場合、訓練を受けた人物による人工呼吸を行い、すぐに医師の手当を受けてください。

目に入った場合

もし本品が目に入った場合、緩やかな水道水で15分以上まぶたを開けて目を洗ってください。医師の診察/手当を受けてください。

皮膚についた場合

皮膚に付いた場合は、大量の水で15分以上洗い流してください。汚染された衣服および靴は脱いでください。医師の診察/手当を受けてください。

飲み込んだ場合

もし本品を飲み込んだ場合、水で口をすすいでください。嘔吐を誘発したり、口から何かを与えたりしないでください。すぐに医師の手当を受けてください。

急性及び遅延性の最も重要な症状/影響

飲み込むと害を及ぼすこともあります。
皮膚に接触すると有害のおそれ。
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。
健康に関する詳細はセクション11の毒物に関する情報を参照してください。

応急処置及び必要とされる特別な処置の指示

追加の関連情報なし。セクション4.1参照。

5 火災時の措置

消火剤

火災では二酸化炭素 (CO₂)、粉末消火剤、噴霧水または泡消火剤を用いる。大規模火災では周辺火災に適した消化剤を用いる。

物質 / 混合物から生じる特別な危険有害性

特別な火災及び爆発危険性

特別な危険有害性は確認されていません。

有害燃焼生成物

本製品からは重大な危険性のある燃焼生成物は発生しません (水溶液)。

消火作業への注意

保護具

すべての薬品火災では消防隊員に自給式の呼吸装置を推奨します。

その他の情報

追加の関連情報なし。

6 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具及び緊急時措置

6 漏出時の措置 (続き)

人体に対する予防措置	防護のための一般安全ガイドラインを遵守してください。目および皮膚に触れないようにしてください。 保護手袋、保護衣、および密封式の保護眼鏡/保護面を着用してください。
環境に対する予防措置	漏出液を容器に回収し、他への流出を防いでください。 未希釈製品が下水、地表水又は地下水に入らないようにしてください。 地域の規制にしたがって内容物/容器を廃棄すること。
封じ込め及び浄化方法と機材 流出および漏出時の措置	流出した物質は適切な不活性の非可燃性吸収剤で吸収し、定められた基準に従い廃棄してください。
他のセクションへの参照	セクション8 および13を参照してください。

7 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置	安全基準に従ってください。目や皮膚に触れないようにしてください。
混触危険性等、安全な保管条件	製品の品質を維持するため製品ラベルの記載内容に従い保存してください。 強酸、強塩基、強酸化剤および不適合物質から離して保管してください (セクション10)。
特定の最終用途	追加の関連情報なし。

8 ばく露防止及び保護措置

管理指標	
許容濃度	
米国 OSHA	未設定
ACGIH	未設定
ACGIH 生物学的曝露指標 (BEI)	未設定
DFG MAK	未設定
アイルランド	未設定
IOELVs	未設定
NIOSH	未設定
中国	未設定
クロアチア	未設定
Japan	未設定

8 ばく露防止及び保護措置 (続き)

スウェーデン (AFS 2015:7および修正案)

未設定

トルコ

未設定

ばく露防止

設備対策

特に技術的な制御は必要ありません。良好な通常の換気を使用してください。

眼の保護具

目に入らないように保護眼鏡を着用してください。

U.S. OSHA 29 CFR 1910.133、欧州規格 EN166 又は適切な政府規格を参照。

皮膚の保護具

Nitrileまたはそれと同等の不浸透性の手袋および保護衣を着用してください。

U.S. OSHA 29 CFR 1910.138、欧州規格 EN 374、EN 14605:2005+A1:2009、またはその他の適切な政府機関の規則を参照してください。

呼吸用保護具

通常の使用条件では、本品の使用には保護マスク等の制約はありませんが、換気が適切に行われず過剰量の暴露の恐れがある場合は、資格を有する専門家に保護マスク等の使用を相談してください。

9 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

外観等	液体	密度および/または相対密度	未定・不明
色	無色	溶解性	
臭い	無臭	水	混和
pH	6.4 - 7.4	有機溶媒	未定・不明
氷点 / 氷結点 / 凝固点	未定・不明	分配係数 n-オクタノール/水 (対数値)	未定・不明
沸点または初留点および 沸点範囲	未定・不明	自然発火温度	適用外
引火点	適用外	分解温度	未定・不明
可燃性	適用外	蒸気圧	未定・不明
		動粘度	未定・不明
爆発下限界と爆発上限界	適用外		
相対蒸気密度	未定・不明		

9 物理的及び化学的性質 (続き)

粒子特性	適用外
その他の情報	
身体的危険性の分類に関する情報	追加の関連情報なし。
その他の安全性特性	追加の関連情報なし。

10 安定性及び反応性

反応性	追加の関連情報なし。
化学的安定性	本品は推奨する保管条件で安定です。
危険有害反応性の可能性	追加の関連情報なし。
避けるべき条件	製品の性能を維持するために、強酸や強塩基、強酸化剤から遠ざけてください。熱や直射日光に触れないようにしてください。
混触危険物質	追加の関連情報なし。
危険有害性のある分解生成物	重大な危険を引き起こす分解生成物は本品 (水溶液) には含まれていません。

11 有害性情報

危険性クラスに関する情報	
危険有害成分の毒性データ	
ポリオキシエチレートオクチル フェノール CAS番号 9002-93-1	経口 LD50 ラット 1800 mg/kg (NZ_CCID)
被曝の主要経路	目との接触、摂取、吸入、および皮膚接触。
急性毒性	飲み込むと害を及ぼすこともあります。 皮膚に接触すると有害のおそれ。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	皮膚に重度の火傷を起こします。
眼に対する重篤な損傷性	重篤な眼の損傷。
呼吸器感作性または皮膚感作性	入手可能なデータによる分類対象外です。
生殖細胞変異原性	入手可能なデータによる分類対象外です。

11 有害性情報 (続き)

発がん性	ACGIH (米国産業衛生専門家会議)、IARC (国際がん研究機関)、NTP (米国国家毒性プログラム)、OSHAまたは1272/2008/EC規則において、本品の成分は発癌物質として記載されていません。
生殖毒性	入手可能なデータによる分類対象外です。
特定標的臓器毒性 (STOT) – 単回ばく露	入手可能なデータによる分類対象外です。
特定標的臓器毒性 (STOT) – 反復ばく露	入手可能なデータによる分類対象外です。
吸引性呼吸器有害性	入手可能なデータによる分類対象外です。
その他の危険性に関する情報	
内分泌攪乱特性	本製品には、REACH第57(f)条に基づき、健康に関して、0.1%以上の濃度の内分泌攪乱特性を有する物質は含まれていません。
その他の情報	追加の関連情報なし。

12 環境影響情報

毒性	
淡水生物種	情報なし
マイクロトックス/菌	情報なし
ミジンコ	情報なし
淡水藻類	情報なし
残留性と分解性	本品では未定。
生体蓄積性	本品では未定。
土壤中の移動度	本品では未定。
PBT及びvPvB評価の結果	本品では未定。PBT (難分解性、生体蓄積性、毒性を有する物質) : 該当しない、vPvB (極めて難分解性、高い生物蓄積性を有する物質) : 該当しない。

12 環境影響情報 (続き)

内分泌攪乱特性

本製品には、REACH第57(f)条に基づき、環境に関して、0.1%以上の濃度の内分泌攪乱特性を有する物質が含まれています。

他の有害影響

本品はカットオフ値以下の環境有害物質を含有しています。成分に関する情報についてはセクション3を参照してください。未希釈製品が下水、地表水または地下水に入らないようにしてください。

13 廃棄上の注意

廃棄物処理方法

製品廃棄物の処分

化学残留物や残った化学薬品は、常に特別廃棄物として処理してください。必ず、現地の公害防止法および該当する法令に従って処分してください。現地の該当局、または認可を得た廃棄物処理会社に問い合わせ、確実に法令を順守してください。

その他の情報

欧州廃棄物カタログ18 01 07 : 18 01 06に記載されている化学品以外の化学品。国、州および地方の関係法規に従って廃棄する。

14 輸送上の注意

本品はICAO、IATA DGR、IMDG、US DOT、欧州ADRおよびRID、またはカナダTDGでの輸送上の規制はありません。

14.1 UN/ID番号：輸送上の規制はありません

14.2 UN 正式品名：輸送上の規制はありません

14.3 輸送時の危険性クラス：輸送上の規制はありません

14.4 包装グループ：輸送上の規制はありません

14.5 環境有害物質：輸送上の規制はありません

14.6 ユーザー向けの特別な予防措置：なし

14.7 IMO規則に則ったばらでの海上輸送：適用外

15 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則 / 法規 米国連邦および州の規則

SARA 313 (セクション313、タイトルIII 報告要件)

成分の記載はありません。

CERCLA - The Comprehensive Environmental Response, Compensation, and Liability Act(CERCLA - 包括的環境対策・補償・責任法)40 CFR 302.4

15 適用法令 (続き)

成分の記載はありません。

California Proposition 65

がんを引き起こすことがカリフォルニア州で知られている化学物質

成分の記載はありません。

発生毒性を引き起こすことがカリフォルニア州で知られている化学物質

成分の記載はありません。

男性に対する生殖毒性を引き起こすことがカリフォルニア州で知られている化学物質

成分の記載はありません。

女性に対する生殖毒性を引き起こすことがカリフォルニア州で知られている化学物質

成分の記載はありません。

マサチューセッツ州有害物質「Right To Know」(RTK) リスト

成分の記載はありません。

ニュージャージー州保健局有害物質「Right To Know」(RTK) リスト

成分の記載はありません。

ペンシルバニア州有害物質「Right To Know」(RTK) リスト

成分の記載はありません。

EU 規則

このSDSは、EC規則 1907/2006(REACH)及び改正に準拠します。

水質有害性等級 (ドイツ)

WGK 2、水質に対して有害

爆発性前駆体の販売および使用に関する規則 (EU) 2019/1148 – 疑わしい取引の報告対照物質

成分の記載はありません。

爆発性前駆体の販売および使用に関する規則 (EU) 2019/1148 - 制限対象の爆発性前駆体

成分の記載はありません。

REACH 1907/2006 EC - 高懸念物質 (SVHC) の候補リスト

CAS番号 9002-93-1 ポリオキシエチレートオクチ
ルフエノール

REACH 1907/2006 EC - 附属書XVII - 特定の危険物質に対する制限事項

成分の記載はありません。

15 適用法令 (続き)

REACH 1907/2006 EC - 附属書XIV - 認可対象物質リスト

CAS番号 9002-93-1 ポリオキシエチレートオクチルフェノール

セクション3を参照

EU REACH認可番号

REACH/23/15/20, REACH/23/15/21, REACH/23/15/22, REACH/23/15/23,
REACH/23/15/24, REACH/23/15/25, REACH/23/15/26, REACH/23/15/27

第66条により、下流ユーザーは、本製品の受領後90日以内に欧州化学物質庁 (ECHA) に通知するものとします。手順については、以下のリンクを使用してください：

www.beckmancoulter.com/reachauthorisation

ポリオキシエチレートオクチルフェノール (CAS# 9002-93-1)

上記の物質を含む廃水の既存収集物および適切な処理を行う下流の使用者は、これらの取り決めを堅持する必要があります。以下に説明されている通知の要求事項は当てはまりません。これらのNPNeOおよびOPNeO物質を含む排水は、指令91/271/EECおよび2000/60/ECを置き換える法律並びに使用する加盟国の国内法令に従って、以下の組織に届けを提出する必要があります。

- (a) 指令2000/60/ECの下で責任のある所轄官庁、
- (b) 指令91/271/EECの下で責任のある所轄官庁、
- (c) その廃水の排出先の下水設備につながる廃水処理工場。

届け出には、年間の排水体積と放出される上記のNPNeOおよびOPNeO物質の量を含める必要があります。要請に応じて、下流使用者は、認可使用を行うREACH規則加盟国の所轄官庁が入手できる届けのコピーを作成します。

UK規則

UK REACH規則 (改正版に従う) - 認可対象物質リスト

セクション3を参照

UK REACH認可番号

UKREACH/22/03/2

第66条により、本製品の受領後90日以内に安全衛生庁 (HSE) に通知することが義務付けられています。手順については、以下のリンクを使用してください：

www.beckmancoulter.com/reachauthorisation

カナダ

本製品は危険物質のWHMIS基準に準拠しています

中国

有害化学物質のカタログ - 有害化学物質

成分の記載はありません。

インベントリー - 中国 - 既存商業化学物質インベントリー (IECSC)

15 適用法令 (続き)

すべての成分がリストに記載されている、あるいは免除されています。

トルコ

トルコ-REACH - KKDİK 規則 - 附属書 17 - 制限事項

成分の記載はありません。

国際的

UN/FAO/ロッテルダム条約 - 事前通報・同意手続 (PIC) の対象となる化学物質

成分の記載はありません。

化学物質安全性評価

化学物質安全性評価が行われませんでした。

セクション15に記載の一部の有害成分は、セクション3の報告要件にある発癌性物質、突然変異原、生殖毒性物質のカットオフ値が0.1%、他の健康ハザードの値が1%未満です。

16 その他の情報

ベックマン・コールター安全基準	可燃性: 0 健康: 3 反応性: 0 物理的接触: 3	コード 0=なし 1=軽度 2=中等度 3=重度
-----------------	---------------------------------------	--------------------------------------

改訂版変更

1、2、3、4、8、15セクションを更新しました

文書バージョンおよび発行/改訂日

改訂日 (年/月/日) 2023/12/29
最終改訂日 (年/月/日) 2023/10/04
文書ID: A32645-75
バージョン: AN

危険有害性分類法

この混合物は、ヒトの健康および環境への有害性に関する計算方法を使用して分類されました。物理的有害性は、仕様に基づいて決定されました。

セクション3の危険有害性分類と危険有害性情報の記述

Acute Tox. Dermal 4 - 急性経皮毒性、カテゴリ4
Acute Tox. Inhal. 4 - 急性吸入毒性、カテゴリ4
急性毒性 (経口) 4 - 急性毒性 (経口)、区分4
眼の損傷性1 - 眼の損傷性区分1
長期水生毒性2 - 水生環境有害性 (長期間)、区分2
Aquatic Longterm 3 - 水生環境有害性 (長期間)、カテゴリ3
皮膚腐食性1C - 皮膚腐食性区分1C
H302 - 飲み込むと有害。
H312 - 皮膚に触れると有害。
H314 - 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。
H318 - 重篤な眼の損傷。
H332 - 吸入すると有害。

16 その他の情報 (続き)

略語及び頭字語

H411 - 長期継続的影響により水生生物に毒性。
H412 - 長期継続的影響により水生生物に有害。
ACGIH—アメリカ産業衛生専門家会議 (ACGIH)
ADR/RID—ヨーロッパ道路鉄道危険物運送条約
CLP—分類、表示および包装
DFGMAK—(独)曝露許容濃度
EC50—環境培地中のある物質の濃度が、テスト生物の50%に一定の効果をもたらすと予想される濃度
GHS—化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS)
HCS—危険有害性周知基準
IARC—国際がん研究機関
IATA DGR—国際航空運送協会航空危険物規則書
ICAO—国際民間航空機関
IDLH—生命および健康に対して急性の有害影響を及ぼす
IMDG—国際海上危険物規定
IMO—国際海事機関
IOELVs—欧州連合職業曝露限度指針値
LC50—水生生物に死亡を引き起こす (テスト個体数の50%) 水中の物質濃度
LD50—致死量50%
NIOSH—国立労働安全衛生研究所
NTP—米国国家毒性プログラム
OSHA—労働安全衛生局
PBT—生物蓄積性及び有毒性物質
PEL—許容曝露限度
SARA—スーパーファンド法修正・再授權法
STEL—短期的曝露限度
STLV—短期的限度値
STV—短期値
TDG—カナダ危険物輸送規則
TLV—閾値
TWA—時間荷重平均濃度
UN GHS—国連世界調和システム
US DOT—米国運輸省
US OSHA—米国労働安全衛生局
vPvB—残留性および蓄積性が極めて高い物質

16 その他の情報 (続き)

WHMIS—作業場危険有害性物質情報システム

ここに記載されているBeckman Coulter、ロゴマーク、ならびにベックマン・コールターの商品およびサービスマークは、ベックマン・コールターの米国およびその他の国における商標と登録商標です。

詳細はお近くの Beckman Coulter, Inc. 代理店までお問い合わせください。

は BECKMAN COULTER, INC. はここに記載した内容は有効かつ正確であると考えていますが、BECKMAN COULTER, INC. 有効性、正確性、あるいは適用性を保証もしくは明言するものではありません。BECKMAN COULTER, INC. 当社はこの内容または製品の使用に関し、法的責任もしくは他のいかなる責任も負うものではありません。危険有害物質の廃棄は地域ごとの法律、規則により規制されることがあります。



安全性データシート

文書ID: A32645-75 バージョン AN
改訂日 (年/月/日) 2023/12/29
最終改訂日 (年/月/日) 2023/10/04

1. 化学品及び会社情報

製品特定名	
製品名	Bind BBC
製品番号	P/Nの構成 A32645
物質 / 混合物の関連用途及び推奨されない用途	
製品の使用	体外診断用医薬品以外。
本安全性データシートの供給者の詳細情報	
製造業者	Beckman Coulter, Inc. 250 S. Kraemer Blvd Brea, CA 92821, U.S.A. Tel: 800-854-3633
サプライヤ	
	日本 ベックマン・コールター株式会社 135-0063 東京都江東区有明3-5-7 TOC有明ウ エストタワー 電話番号: +81 0120 566 730
e-mail アドレス	SDSNT@beckman.com
緊急時電話番号	
電話番号(24時間対応)	Chemtrec 緊急連絡電話番号 米国 800-424-9300、国際電話 (001) 703-527-3887
販売業者および緊急時の連絡先	最寄りの営業所および緊急電話番号に関しては別紙一覧表 (書類番号: 472050) を参照してください。 日本 最寄りの保健所、消防機関、警察署 電話番号: 最寄りの保健所、消防機関、警察署の番号

2 危険有害性の要約

物質 / 混合物の分類	
製品説明	混合物

2 危険有害性の要約 (続き)

茶色; 液体; 無臭

EC 1272/2008 (CLP/GHS)による分類

EC 1272/2008 (CLP/GHS)で危険物に分類されていない

US-OSHA (HCS 29 CFR 1910.1200)およびUN GHSによる分類

US-OSHA HCS 2012およびUN GHSで危険物に分類されていない

ラベル要素

EC 1272/2008 (CLP/GHS)、US-OSHA、およびUN GHSに準拠

他の危険有害性

EC 1272/2008 (CLP/GHS)、US-OSHAおよびGHSで危険物に分類されていない

本品は、排水管に一般に存在する鉛や銅に繰り返し触れると衝撃に敏感な化合物を蓄積することがあるアジ化物を、有害性基準を下回る濃度で含有しています。アジ化ナトリウムは重金属と化合して爆発性化合物を形成します。

PBTおよびvPvB評価の結果

PBT: 該当しない。

vPvB: 該当しない。

健康に関する詳細はセクション11の毒物に関する情報を参照してください。

3 組成及び成分情報

混合物		純粋成分の災害分類		
危険有害成分:		EU 1272/2008 CLP/GHS	GHS	注記
化学物質名	重量による%			
アジ化ナトリウム CAS番号 26628-22-8 EINECS # 247-852-1 インデックス番号 011-004-00-7	< 0.1	Acute Tox. Oral 2, H300 急性水生毒性1, H400 長期水生毒性1, H410 EUH032 急性毒性推定値 (ATE) ATE 経口 = 27 mg/kg	Acute Tox. Oral 2, H300 急性水生毒性1, H400 長期水生毒性1, H410	2, 8

2 - EC職業暴露限界の設定されている物質

8 - カットオフ値よりも低い濃度で存在。

職業ばく露限界についてはセクション8参照

その他の規制情報についてはセクション15参照

危険有害性分類と危険有害性情報の記述については、セクション16を参照

4 応急措置

応急措置についての記述

吸入した場合

もし本品を吸入した場合、吸入者を空気の新鮮な場所へ移動させてください。呼吸をしていない場合、訓練を受けた人物による人工呼吸を行い、すぐに医師の手当を受けてください。

目に入った場合

もし本品が目に入った場合、念のため緩やかな水道水で目を洗ってください。

4 応急措置 (続き)

皮膚についた場合	皮膚に付いた場合は、念のため水で洗い流してください。
飲み込んだ場合	もし本品を飲み込んだ場合、水で口をすすいでください。刺激や不快感が生じた場合は、すぐに医師の手当を受けてください。
急性及び遅延性の最も重要な症状/影響	有害な症状又は影響は確認されていません。
応急処置及び必要とされる特別な処置の指示	特別な治療や処置は必要ありません。

5 火災時の措置

消火剤	火災では二酸化炭素 (CO ₂)、粉末消火剤、噴霧水または泡消火剤を用いる。大規模火災では周辺火災に適した消化剤を用いる。
物質 / 混合物から生じる特別な危険有害性 特別な火災及び爆発危険性	特別な危険有害性は確認されていません。
有害燃焼生成物	本製品からは重大な危険性のある燃焼生成物は発生しません (水溶液)。
消火作業への注意	
保護具	すべての薬品火災では消防隊員に自給式の呼吸装置を推奨します。
その他の情報	追加の関連情報なし。

6 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具及び緊急時措置	
人体に対する予防措置	特別な注意事項はありません。安全基準に従ってください。
環境に対する予防措置	漏出液を容器に回収し、他への流出を防いでください。 未希釈製品が下水、地表水又は地下水に入らないようにしてください。 地域の規制にしたがって内容物/容器を廃棄すること。
封じ込め及び浄化方法と機材	
流出および漏出時の措置	流出した物質は適切な不活性の非可燃性吸収剤で吸収し、定められた基準に従い廃棄してください。
他のセクションへの参照	セクション8 および13を参照してください。

7 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置 特別な注意事項はありません。一般的な安全手順に従ってください。

7 取扱い及び保管上の注意 (続き)

混触危険性等、安全な保管条件

製品の品質を維持するため製品ラベルの記載内容に従い保存してください。
強酸、強塩基、強酸化剤および不適合物質から離して保管してください (セクション10)。

特定の最終用途

追加の関連情報なし。

8 ばく露防止及び保護措置

管理指標

許容濃度

米国 OSHA

未設定

ACGIH

アジ化ナトリウム
CAS番号 26628-22-8

0.29 mg/m³ 天井値 (アジ化ナトリウムとして); 0.11 ppm 天井値 (アジ化水素酸蒸気として)

ACGIH 生物学的曝露指標 (BEI)

未設定

DFG MAK

アジ化ナトリウム
CAS番号 26628-22-8

0.4 mg/m³ ピーク (吸引性画分); 0.2 mg/m³ TWA MAK (吸引性画分)

アイルランド

アジ化ナトリウム
CAS番号 26628-22-8

0.1 mg/m³ TWA; 0.3 mg/m³ STEL; 経皮吸収の可能性

IOELVs

アジ化ナトリウム
CAS番号 26628-22-8

重大な経皮吸収が起こる可能性がある。; 0.1 mg/m³ TWA; 0.3 mg/m³ STEL

NIOSH

未設定

中国

アジ化ナトリウム
CAS番号 26628-22-8

0.3 mg/m³ 天井値 MAC

クロアチア

アジ化ナトリウム
CAS番号 26628-22-8

経皮吸収注意; 0.1 mg/m³ TWA [GVI]; 0.3 mg/m³ STEL [KGV]

Japan

未設定

スウェーデン (AFS 2015:7および修正案)

アジ化ナトリウム
CAS番号 26628-22-8

0.1 mg/m³ TLV NGV; 0.3 mg/m³ 結合STEL Bindande KGV

8 ばく露防止及び保護措置 (続き)

トルコ

アジ化ナトリウム
CAS番号 26628-22-8

0.3 mg/m³ STEL; 経皮吸収注意; 0.1 mg/m³ TWA

ばく露防止

設備対策

特に技術的な制御は必要ではありません。良好な通常の換気を使用してください。

眼の保護具

目に入らないように保護眼鏡を着用してください。

U.S. OSHA 29 CFR 1910.133、欧州規格 EN166 又は適切な政府規格を参照。

皮膚の保護具

必要に応じて、保護衣および不浸透性の手袋を着用してください。

呼吸用保護具

通常の状態では本品を使用する場合には呼吸保護は必要ありません。

9 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

外観等	液体	密度および/または相対密度	未定・不明
色	茶色	溶解性	
臭い	無臭	水	混和
pH	6.5 - 7.5	有機溶媒	未定・不明
氷点 / 氷結点 / 凝固点	未定・不明	分配係数 n-オクタノール/水 (対数値)	未定・不明
沸点または初留点および沸点範囲	未定・不明	自然発火温度	適用外
引火点	適用外	分解温度	未定・不明
可燃性	適用外	蒸気圧	未定・不明
		動粘度	未定・不明
爆発下限界と爆発上限界	適用外		
相対蒸気密度	未定・不明		
粒子特性	適用外		
その他の情報			
身体的危険性の分類に関する情報	追加の関連情報なし。		
その他の安全性特性	追加の関連情報なし。		

10 安定性及び反応性

反応性	追加の関連情報なし。
化学的安定性	本品は推奨する保管条件で安定です。
危険有害反応性の可能性	アジ化ナトリウムは重金属と結合し爆発性化合物を生成します。低濃度のアジ化物でも排水管などの鉛や銅と繰り返し接触することにより爆発しやすい化合物を生成することがあります。
避けるべき条件	不適合な物質との接触を避けてください。 熱や直射日光に触れないようにしてください。
混触危険物質	金属および金属化合物
危険有害性のある分解生成物	重大な危険を引き起こす分解生成物は本品 (水溶液) には含まれていません。

11 有害性情報

危険性クラスに関する情報

危険有害成分の毒性データ

アジ化ナトリウム
CAS番号 26628-22-8

経皮 LD50 ウサギ 20 mg/kg (NLM_HSDB); 吸入 LC50 ラット 0.054 - 0.52 mg/L 4 h (粉塵)(ECHA_API); 経口 LD50 ラット 27 mg/kg (NZ_CCID)

被曝の主要経路

目との接触、摂取、吸入、および皮膚接触。

急性毒性

入手可能なデータによる分類対象外です。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

入手可能なデータによる分類対象外です。

眼に対する重篤な損傷性

入手可能なデータによる分類対象外です。

呼吸器感作性または皮膚感作性

入手可能なデータによる分類対象外です。

生殖細胞変異原性

入手可能なデータによる分類対象外です。

発がん性

ACGIH (米国産業衛生専門家会議)、IARC (国際がん研究機関)、NTP (米国国家毒性プログラム)、OSHAまたは1272/2008/EC規則において、本品の成分は発癌物質として記載されていません。

生殖毒性

入手可能なデータによる分類対象外です。

特定標的臓器毒性 (STOT) – 単回ばく露

入手可能なデータによる分類対象外です。

特定標的臓器毒性 (STOT) – 反復ばく露

入手可能なデータによる分類対象外です。

11 有害性情報 (続き)

吸引性呼吸器有害性	入手可能なデータによる分類対象外です。
その他の危険性に関する情報	
内分泌攪乱特性	本製品には、REACH第57(f)条に基づき、健康に関して、内分泌攪乱特性を有する物質は含まれていません。
その他の情報	追加の関連情報なし。

12 環境影響情報

毒性	
淡水生物種	
アジ化ナトリウム CAS番号 26628-22-8	LC50 96 h Oncorhynchus mykiss: 0.8 mg/L; LC50 96 h Lepomis macrochirus: 0.7 mg/L; LC50 96 h Pimephales promelas: 5.46 mg/L [流水式]
マイクロトックス/菌	情報なし
ミジンコ	情報なし
淡水藻類	情報なし
残留性と分解性	本品では未定。
生体蓄積性	本品では未定。
土壌中の移動度	本品では未定。
PBT及びvPvB評価の結果	本品では未定。PBT (難分解性、生体蓄積性、毒性を有する物質) : 該当しない、vPvB (極めて難分解性、高い生物蓄積性を有する物質) : 該当しない。
内分泌攪乱特性	本製品には、REACH第57(f)条に基づき、環境に関して、内分泌攪乱特性を有する物質は含まれていません。
他の有害影響	本品はカットオフ値以下の環境有害物質を含有しています。成分に関する情報についてはセクション3を参照してください。未希釈製品が下水、地表水または地下水に入らないようにしてください。

13 廃棄上の注意

廃棄物処理方法	
製品廃棄物の処分	化学残留物や残った化学薬品は、常に特別廃棄物として処理してください。必ず、現地の公害防止法および該当する法令に従って処分してください。現地の該当局、または認可を得た廃棄物処理会社に問い合わせ、確実に法令を順守してください。

アジ化ナトリウムは保存剤として用いられますが、金属製排水管内で爆発性化合物を生成することがあります。(NIOSH Bulletin: Explosive Azide Hazard (1976/8/16))

アジ化物が蓄積する可能性を回避するため、未希釈の試薬を廃棄した後は排水管を水で洗い流します。アジ化ナトリウムは地方自治体の規定に従い適切に廃棄してください。

その他の情報

欧州廃棄物カタログ18 01 07 : 18 01 06に記載されている化学品以外の化学品。国、州および地方の関係法規に従って廃棄する。

14 輸送上の注意

本品はICAO、IATA DGR、IMDG、US DOT、欧州ADRおよびRID、またはカナダTDGでの輸送上の規制はありません。

- 14.1 UN/ID番号：輸送上の規制はありません
- 14.2 UN 正式品名：輸送上の規制はありません
- 14.3 輸送時の危険性クラス：輸送上の規制はありません
- 14.4 包装グループ：輸送上の規制はありません
- 14.5 環境有害物質：輸送上の規制はありません
- 14.6 ユーザー向けの特別な予防措置：なし
- 14.7 IMO規則に則ったばらでの海上輸送：適用外

15 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則 / 法規 米国連邦および州の規則

SARA 313 (セクション313、タイトルIII 報告要件)

CAS番号 26628-22-8 アジ化ナトリウム 1.0% 僅少濃度

CERCLA - The Comprehensive Environmental Response, Compensation, and Liability Act(CERCLA - 包括的環境対策・補償・責任法)40 CFR 302.4

CAS番号 26628-22-8 アジ化ナトリウム

California Proposition 65

がんを引き起こすことがカリフォルニア州で知られている化学物質

成分の記載はありません。

発生毒性を引き起こすことがカリフォルニア州で知られている化学物質

成分の記載はありません。

男性に対する生殖毒性を引き起こすことがカリフォルニア州で知られている化学物質

成分の記載はありません。

15 適用法令 (続き)

女性に対する生殖毒性を引き起こすことがカリフォルニア州で知られている化学物質

成分の記載はありません。

マサチューセッツ州有害物質「Right To Know」(RTK) リスト

CAS番号 26628-22-8 アジ化ナトリウム

ニュージャージー州保健局有害物質「Right To Know」(RTK) リスト

CAS番号 26628-22-8 アジ化ナトリウム

ペンシルバニア州有害物質「Right To Know」(RTK) リスト

CAS番号 26628-22-8 アジ化ナトリウム

EU規則

このSDSは、EC規則 1907/2006(REACH)及び改正に準拠します。

爆発性前駆体の販売および使用に関する規則 (EU) 2019/1148 - 疑わしい取引の報告対照物質

成分の記載はありません。

爆発性前駆体の販売および使用に関する規則 (EU) 2019/1148 - 制限対象の爆発性前駆体

成分の記載はありません。

REACH 1907/2006 EC - 高懸念物質 (SVHC) の候補リスト

成分の記載はありません。

REACH 1907/2006 EC - 附属書XVII - 特定の危険物質に対する制限事項

成分の記載はありません。

REACH 1907/2006 EC - 附属書XIV - 認可対象物質リスト

成分の記載はありません。

セクション3を参照

UK規則

UK REACH規則 (改正版に従う) - 認可対象物質リスト

セクション3を参照

カナダ

本品は危険物としてのWHMISの基準に該当しません。

中国

有害化学物質のカタログ - 有害化学物質

CAS番号 26628-22-8 アジ化ナトリウム

インベントリー - 中国 - 既存商業化学物質インベントリー (IECSC)

すべての成分がリストに記載されている、あるいは免除されています。

15 適用法令 (続き)

トルコ

トルコ-REACH - KKDİK 規則 - 附属書 17 - 制限事項

成分の記載はありません。

国際的

UN/FAO/ロツテルダム条約 - 事前通報・同意手続 (PIC) の対象となる化学物質

成分の記載はありません。

化学物質安全性評価

化学物質安全性評価が行われませんでした。

セクション15に記載の一部の有害成分は、セクション3の報告要件にある発癌性物質、突然変異原、生殖毒性物質のカットオフ値が0.1%、他の健康ハザードの値が1%未満です。

16 その他の情報

ベックマン・コールター安全基準	可燃性: 0 健康: 1 反応性: 0 物理的接触: 1	コード 0=なし 1=軽度 2=中等度 3=重度
-----------------	---------------------------------------	--------------------------------------

改訂版変更

1、2、3、4、8、15セクションを更新しました

文書バージョンおよび発行/改訂日

改訂日 (年/月/日) 2023/12/29
最終改訂日 (年/月/日) 2023/10/04
文書ID: A32645-75
バージョン: AN

危険有害性分類法

この混合物は、ヒトの健康および環境への有害性に関する計算方法を使用して分類されました。物理的有害性は、仕様に基づいて決定されました。

セクション3の危険有害性分類と危険有害性情報の記述

Aquatic Acute 1 - 水生環境有害性 (急性)、カテゴリ1
Acute Tox. Oral 2 - 急性経口毒性、カテゴリ2
長期水生毒性1 - 水生環境有害性 (長期間)、区分1
EUH032 - 酸に触れると非常に有毒なガスを発生。
H300 - 飲み込むと生命に危険。
H400 - 水生生物に非常に強い毒性。
H410 - 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性。

16 その他の情報 (続き)

略語及び頭字語

ACGIH—アメリカ産業衛生専門家会議 (ACGIH)
ADR/RID—ヨーロッパ道路鉄道危険物運送条約
CLP—分類、表示および包装
DFGMAK—(独)曝露許容濃度
EC50—環境培地中のある物質の濃度が、テスト生物の50%に一定の効果をもたらすと予想される濃度
GHS—化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS)
HCS—危険有害性周知基準
IARC—国際がん研究機関
IATA DGR—国際航空運送協会航空危険物規則書
ICAO—国際民間航空機関
IDLH—生命および健康に対して急性の有害影響を及ぼす
IMDG—国際海上危険物規定
IMO—国際海事機関
IOELVs—欧州連合職業曝露限度指針値
LC50—水生生物に死亡を引き起こす (テスト個体数の50%) 水中の物質濃度
LD50—致死量50%
NIOSH—国立労働安全衛生研究所
NTP—米国国家毒性プログラム
OSHA—労働安全衛生局
PBT—生物蓄積性及び有毒性物質
PEL—許容曝露限度
SARA—スーパーファンド法修正・再授權法
STEL—短期的曝露限度
STLV—短期的限度値
STV—短期値
TDG—カナダ危険物輸送規則
TLV—閾値
TWA—時間荷重平均濃度
UN GHS—国連世界調和システム
US DOT—米国運輸省
US OSHA—米国労働安全衛生局
vPvB—残留性および蓄積性が極めて高い物質
WHMIS—作業場危険有害性物質情報システム

ここに記載されているBeckman Coulter、ロゴマーク、ならびにベックマン・コルターの商品およびサービスマークは、ベックマン・コルターの米国およびその他の国における商標と登録商標です。

詳細はお近くの Beckman Coulter, Inc. 代理店までお問い合わせください。

は BECKMAN COULTER, INC. はここに記載した内容は有効かつ正確であると考えていますが、BECKMAN COULTER, INC. 有効性、正確性、あるいは適用性を保証もしくは明言するものではありません。BECKMAN COULTER, INC. 当社はこの内容または製品の使用に関し、法的責任もしくは他のいかなる責任も負うものではありません。危険有害物質の廃棄は地域ごとの法律、規則により規制されることがあります。



安全性データシート

文書ID: A32645-75 バージョン AN
改訂日 (年/月/日) 2023/12/29
最終改訂日 (年/月/日) 2023/10/04

1. 化学品及び会社情報

製品特定名**製品名**

Wash WBD

製品番号

P/Nの構成 A32645

物質 / 混合物の関連用途及び推奨されない用途**製品の使用**

体外診断用医薬品以外。

本安全性データシートの供給者の詳細情報**製造業者**

Beckman Coulter, Inc.
250 S. Kraemer Blvd
Brea, CA 92821, U.S.A.
Tel: 800-854-3633

サプライヤ

日本
ベックマン・コールター株式会社
135-0063
東京都江東区有明3-5-7 TOC有明ウ
エストタワー
電話番号: +81 0120 566 730

e-mail アドレス

SDSNT@beckman.com

緊急時電話番号**電話番号(24時間対応)**

Chemtrec 緊急連絡電話番号 米国 800-424-9300、国際電話 (001) 703-527-3887

販売業者および緊急時の連絡先

最寄りの営業所および緊急電話番号に関しては別紙一覧表 (書類番号: [472050](#)) を参照してください。

日本
最寄りの保健所、消防機関、警察署
電話番号: 最寄りの保健所、消防機関、警察署の番号

2 危険有害性の要約

物質 / 混合物の分類**製品説明**

混合物

2 危険有害性の要約 (続き)

無色; 液体; 無臭

EC 1272/2008 (CLP/GHS)による分類

眼に対する重篤な損傷性 区分 1, H318

皮膚腐食性 区分 1C, H314

US-OSHA (HCS 29 CFR 1910.1200)およびUN GHSによる分類

急性毒性 (経口)、区分 5

眼に対する重篤な損傷性 区分 1

皮膚腐食性 区分 1C

ラベル要素

EC 1272/2008 (CLP/GHS)、US-OSHA、およびUN GHSに準拠 危険有害成分

チオシアン酸グアニジン

ポリオキシエチレートオクチルフェノール

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H303 飲み込むと害を及ぼすこともあります。

H314 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。

危険有害性情報

予防

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。

反応

P301+P330+P331 飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

P303+P361+P353 皮膚(または髪)に付着した場合:皮膚を水で洗うこと。

P304+P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P305+P351+P338 目に入った場合: 水で数分間注意深く洗ってください。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。

P310 「中毒センター」または医師にただちに連絡してください。

P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

保存

P405 施錠して保管すること。

廃棄

P501 地域/国の規制にしたがって内容物/容器を廃棄すること。

製品ラベルには非常に重大な危険有害性情報が表示されます。

REACH認可番号

REACH/23/15/20, REACH/23/15/21, REACH/23/15/22, REACH/23/15/23,
REACH/23/15/24, REACH/23/15/25, REACH/23/15/26, REACH/23/15/27

UKREACH/22/03/2

2 危険有害性の要約 (続き)

他の危険有害性

PBTおよびvPvB評価の結果

PBT：該当しない。

vPvB：該当しない。

本製品には、環境または健康に関して、0.1%以上の濃度の内分泌攪乱特性を有する物質が含まれています。

健康に関する詳細はセクション11の毒物に関する情報を参照してください。

3 組成及び成分情報

混合物

危険有害成分:		純粋成分の災害分類		
化学物質名	重量による%	EU 1272/2008 CLP/GHS	GHS	注記
チオシアン酸グアニジン CAS番号 593-84-0 EINECS # 209-812-1 インデックス番号 情報なし	10 - 20	Acute Tox. Dermal 4, H312 Acute Tox. Inhal. 4, H332 Aquatic Longterm 3, H412 急性毒性 (経口) 4, H302 皮膚腐食性1C, H314 眼の損傷性1, H318 急性毒性推定値 (ATE) ATE 経皮 = 1100 mg/kg ATE 吸入-蒸気 = 11 mg/L ATE 経口 = 500 mg/kg	Acute Tox. Dermal 4, H312 Acute Tox. Inhal. 4, H332 Aquatic Longterm 3, H412 急性毒性 (経口) 4, H302 皮膚腐食性1C, H314 眼の損傷性1, H318	
ポリオキシエチレートオクチルフェノール CAS番号 9002-93-1 EINECS # 情報なし インデックス番号 情報なし	< 1	急性毒性 (経口) 4, H302 眼の損傷性1, H318 長期水生毒性2, H411 急性毒性推定値 (ATE) ATE 経口 = 1800 mg/kg	急性毒性 (経口) 4, H302 眼の損傷性1, H318 長期水生毒性2, H411	EDe, EUAUTH, SVHC, UKAUTH

EDe - 内分泌攪乱特性 (環境)

EUAUTH - EU - REACH (1907/2006) 付属文書 XIV に基づく認可の対象

SVHC - Substance of very high concern (SVHC - 高懸念物質)

UKAUTH - UK - REACH 付属文書 XIV に基づく認可の対象

職業ばく露限界についてはセクション8 参照

その他の規制情報についてはセクション15参照

危険有害性分類と危険有害性情報の記述については、セクション16を参照

4 応急措置

応急措置についての記述

吸入した場合

もし本品を吸入した場合、吸入者を空気の新鮮な場所へ移動させてください。呼吸をしていない場合、訓練を受けた人物による人工呼吸を行い、すぐに医師の手当を受けてください。

目に入った場合

もし本品が目に入った場合、緩やかな水道水で15分以上まぶたを開けて目を洗ってください。医師の診察/手当を受けてください。

4 応急措置 (続き)

皮膚についた場合	皮膚に付いた場合は、大量の水で15分以上洗い流してください。汚染された衣服および靴は脱いでください。医師の診察/手当を受けてください。
飲み込んだ場合	もし本品を飲み込んだ場合、水で口をすすいでください。嘔吐を誘発したり、口から何かを与えたりしないでください。すぐに医師の手当を受けてください。
急性及び遅延性の最も重要な症状/影響	飲み込むと害を及ぼすこともあります。 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。 健康に関する詳細はセクション11の毒物に関する情報を参照してください。
応急処置及び必要とされる特別な処置の指示	追加の関連情報なし。セクション4.1参照。

5 火災時の措置

消火剤	火災では二酸化炭素 (CO ₂)、粉末消火剤、噴霧水または泡消火剤を用いる。大規模火災では周辺火災に適した消化剤を用いる。
物質 / 混合物から生じる特別な危険有害性 特別な火災及び爆発危険性	特別な危険有害性は確認されていません。
有害燃焼生成物	本製品からは重大な危険性のある燃焼生成物は発生しません (水溶液)。
消火作業への注意	
保護具	すべての薬品火災では消防隊員に自給式の呼吸装置を推奨します。
その他の情報	追加の関連情報なし。

6 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具及び緊急時措置	
人体に対する予防措置	防護のための一般安全ガイドラインを遵守してください。目および皮膚に触れないようにしてください。 保護手袋、保護衣、および密封式の保護眼鏡/保護面を着用してください。
環境に対する予防措置	漏出液を容器に回収し、他への流出を防いでください。 未希釈製品が下水、地表水又は地下水に入らないようにしてください。 地域の規制にしたがって内容物/容器を廃棄すること。

6 漏出時の措置 (続き)

封じ込め及び浄化方法と機材

流出および漏出時の措置

流出した物質は適切な不活性の非可燃性吸収剤で吸収し、定められた基準に従い廃棄してください。

他のセクションへの参照

セクション8 および13を参照してください。

7 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置 安全基準に従ってください。目や皮膚に触れないようにしてください。

混触危険性等、安全な保管条件

製品の品質を維持するため製品ラベルの記載内容に従い保存してください。強酸、強塩基、強酸化剤および不適合物質から離して保管してください (セクション10)。

特定の最終用途

追加の関連情報なし。

8 ばく露防止及び保護措置

管理指標

許容濃度

米国 OSHA 未設定

ACGIH 未設定

ACGIH 生物学的曝露指標 (BEI) 未設定

DFG MAK 未設定

アイルランド 未設定

IOELVs 未設定

NIOSH 未設定

中国 未設定

クロアチア 未設定

Japan 未設定

スウェーデン (AFS 2015:7および修正案) 未設定

トルコ 未設定

8 ばく露防止及び保護措置 (続き)

ばく露防止

設備対策

特に技術的な制御は必要ありません。良好な通常の換気を使用してください。

眼の保護具

目に入らないように保護眼鏡を着用してください。

U.S. OSHA 29 CFR 1910.133、欧州規格 EN166 又は適切な政府規格を参照。

皮膚の保護具

Nitrile またはそれと同等の不浸透性の手袋および保護衣を着用してください。

U.S. OSHA 29 CFR 1910.138、欧州規格 EN 374、EN 14605:2005+A1:2009、またはその他の適切な政府機関の規則を参照してください。

呼吸用保護具

通常の使用条件では、本品の使用には保護マスク等の制約はありませんが、換気が適切に行われず過剰量の暴露の恐れがある場合は、資格を有する専門家に保護マスク等の使用を相談してください。

9 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

外観等	液体	密度および/または相対密度	≈ 1
色	無色	溶解性	
臭い	無臭	水	混和
pH	6.4 - 7.4	有機溶媒	未定・不明
氷点 / 氷結点 / 凝固点	未定・不明	分配係数 n-オクタノール/水 (対数値)	未定・不明
沸点または初留点および沸点範囲	未定・不明	自然発火温度	適用外
引火点	適用外	分解温度	未定・不明
可燃性	適用外	蒸気圧	未定・不明
		動粘度	未定・不明
爆発下限界と爆発上限界	適用外		
相対蒸気密度	未定・不明		
粒子特性	適用外		
その他の情報			
身体的危険性の分類に関する情報	追加の関連情報なし。		
その他の安全性特性	追加の関連情報なし。		

10 安定性及び反応性

反応性	追加の関連情報なし。
化学的安定性	本品は推奨する保管条件で安定です。
危険有害反応性の可能性	追加の関連情報なし。
避けるべき条件	製品の性能を維持するために、強酸や強塩基、強酸化剤から遠ざけてください。熱や直射日光に触れないようにしてください。
混触危険物質	追加の関連情報なし。
危険有害性のある分解生成物	重大な危険を引き起こす分解生成物は本品 (水溶液) には含まれていません。

11 有害性情報

危険性クラスに関する情報

危険有害成分の毒性データ

ポリオキシエチレートオクチルフェノール
CAS番号 9002-93-1 経口 LD50 ラット 1800 mg/kg (NZ_CCID)

被曝の主要経路

目との接触、摂取、吸入、および皮膚接触。

急性毒性

飲み込むと害を及ぼすこともあります。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

皮膚に重度の火傷を起こします。

眼に対する重篤な損傷性

重篤な眼の損傷。

呼吸器感受性または皮膚感受性 入手可能なデータによる分類対象外です。

生殖細胞変異原性 入手可能なデータによる分類対象外です。

発がん性

ACGIH (米国産業衛生専門家会議)、IARC (国際がん研究機関)、NTP (米国国家毒性プログラム)、OSHAまたは1272/2008/EC規則において、本品の成分は発癌物質として記載されていません。

生殖毒性

入手可能なデータによる分類対象外です。

特定標的臓器毒性 (STOT) – 単回ばく露

入手可能なデータによる分類対象外です。

特定標的臓器毒性 (STOT) – 反復ばく露

入手可能なデータによる分類対象外です。

吸引性呼吸器有害性

入手可能なデータによる分類対象外です。

11 有害性情報 (続き)

その他の危険性に関する情報

内分泌攪乱特性

本製品には、REACH第57(f)条に基づき、健康に関して、0.1%以上の濃度の内分泌攪乱特性を有する物質は含まれていません。

その他の情報

追加の関連情報なし。

12 環境影響情報

毒性

淡水生物種

情報なし

マイクロトックス/菌

情報なし

ミジンコ

情報なし

淡水藻類

情報なし

残留性と分解性

本品では未定。

生体蓄積性

本品では未定。

土壌中の移動度

本品では未定。

PBT及びvPvB評価の結果

本品では未定。PBT (難分解性、生体蓄積性、毒性を有する物質) : 該当しない、vPvB (極めて難分解性、高い生物蓄積性を有する物質) : 該当しない。

内分泌攪乱特性

本製品には、REACH第57(f)条に基づき、環境に関して、0.1%以上の濃度の内分泌攪乱特性を有する物質が含まれています。

他の有害影響

本品はカットオフ値以下の環境有害物質を含有しています。成分に関する情報についてはセクション3を参照してください。未希釈製品が下水、地表水または地下水に入らないようにしてください。

13 廃棄上の注意

廃棄物処理方法

製品廃棄物の処分

化学残留物や残った化学薬品は、常に特別廃棄物として処理してください。必ず、現地の公害防止法および該当する法令に従って処分してください。現地の該当局、または認可を得た廃棄物処理会社に問い合わせ、確実に法令を順守してください。

その他の情報

欧州廃棄物カタログ18 01 07 : 18 01 06に記載されている化学品以外の化学品。国、州および地方の関係法規に従って廃棄する。

14 輸送上の注意

本品はICAO、IATA DGR、IMDG、US DOT、欧州ADRおよびRID、またはカナダTDGでの輸送上の規制はありません。

- 14.1 UN/ID番号：輸送上の規制はありません
- 14.2 UN 正式品名：輸送上の規制はありません
- 14.3 輸送時の危険性クラス：輸送上の規制はありません
- 14.4 包装グループ：輸送上の規制はありません
- 14.5 環境有害物質：輸送上の規制はありません
- 14.6 ユーザー向けの特別な予防措置：なし
- 14.7 IMO規則に則ったばらでの海上輸送：適用外

15 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則 / 法規 米国連邦および州の規則

SARA 313 (セクション313、タイトルIII 報告要件)

成分の記載はありません。

CERCLA - The Comprehensive Environmental Response, Compensation, and Liability Act(CERCLA - 包括的環境対策・補償・責任法)40 CFR 302.4

成分の記載はありません。

California Proposition 65

がんを引き起こすことがカリフォルニア州で知られている化学物質

成分の記載はありません。

発生毒性を引き起こすことがカリフォルニア州で知られている化学物質

成分の記載はありません。

男性に対する生殖毒性を引き起こすことがカリフォルニア州で知られている化学物質

成分の記載はありません。

女性に対する生殖毒性を引き起こすことがカリフォルニア州で知られている化学物質

成分の記載はありません。

マサチューセッツ州有害物質「Right To Know」(RTK) リスト

成分の記載はありません。

ニュージャージー州保健局有害物質「Right To Know」(RTK) リスト

成分の記載はありません。

15 適用法令 (続き)

ペンシルバニア州有害物質「Right To Know」(RTK)リスト

成分の記載はありません。

EU 規則

このSDSは、EC規則 1907/2006(REACH)及び改正に準拠します。

水質有害性等級 (ドイツ)

WGK 2、水質に対して有害

爆発性前駆体の販売および使用に関する規則 (EU) 2019/1148 – 疑わしい取引の報告対照物質

成分の記載はありません。

爆発性前駆体の販売および使用に関する規則 (EU) 2019/1148 - 制限対象の爆発性前駆体

成分の記載はありません。

REACH 1907/2006 EC - 高懸念物質 (SVHC) の候補リスト

CAS番号 9002-93-1 ポリオキシエチレートオクチ
ルフェノール

REACH 1907/2006 EC - 附属書XVII - 特定の危険物質に対する制限事項

成分の記載はありません。

REACH 1907/2006 EC - 附属書XIV - 認可対象物質リスト

CAS番号 9002-93-1 ポリオキシエチレートオクチ
ルフェノール

セクション3を参照

EU REACH認可番号

REACH/23/15/20, REACH/23/15/21, REACH/23/15/22, REACH/23/15/23,
REACH/23/15/24, REACH/23/15/25, REACH/23/15/26, REACH/23/15/27

第66条により、下流ユーザーは、本製品の受領後90日以内に欧州化学物質
庁 (ECHA) に通知するものとします。手順については、以下のリンクを
使用してください：

www.beckmancoulter.com/reachauthorisation

ポリオキシエチレートオクチルフェノール (CAS# 9002-93-1)

上記の物質を含む廃水の既存収集物および適切な処理を行う下流の使用者は、
これらの取り決めを堅持する必要があります。以下に説明されている通知の
要求事項は当てはまりません。これらのNPNeOおよびOPNeO物質を含む排
水は、指令91/271/EECおよび2000/60/ECを置き換える法律並びに使用する加
盟国の国内法令に従って、以下の組織に届けを提出する必要があります。

- 指令2000/60/ECの下で責任のある所轄官庁、
- 指令91/271/EECの下で責任のある所轄官庁、
- その廃水の排出先の下水設備につながる廃水処理工場。

15 適用法令 (続き)

届け出には、年間の排水体積と放出される上記のNPNeOおよびOPNeO物質の量を含める必要があります。要請に応じて、下流使用者は、認可使用を行うREACH規則加盟国の所轄官庁が入手できる届けのコピーを作成します。

UK規則

UK REACH規則 (改訂版に従う) - 認可対象物質リスト

セクション3を参照

UK REACH認可番号

UKREACH/22/03/2

第66条により、本製品の受領後90日以内に安全衛生庁 (HSE) に通知することが義務付けられています。手順については、以下のリンクを使用してください :

www.beckmancoulter.com/reachauthorisation

カナダ

本製品は危険物質のWHMIS基準に準拠しています

中国

有害化学物質のカタログ - 有害化学物質

成分の記載はありません。

インベントリー - 中国 - 既存商業化学物質インベントリー (IECSC)

すべての成分がリストに記載されている、あるいは免除されています。

トルコ

トルコ-REACH - KKDIK 規則 - 附属書 17 - 制限事項

成分の記載はありません。

国際的

UN/FAO/ロッテルダム条約 - 事前通報・同意手続 (PIC) の対象となる化学物質

成分の記載はありません。

化学物質安全性評価

化学物質安全性評価が行われませんでした。

セクション15に記載の一部の有害成分は、セクション3の報告要件にある発癌性物質、突然変異原、生殖毒性物質のカットオフ値が0.1%、他の健康ハザードの値が1%未満です。

16 その他の情報

ベックマン・コールター安全基準	可燃性: 0 健康: 3 反応性: 0 物理的接触: 3	コード 0=なし 1=軽度 2=中等度 3=重度
------------------------	---	---

改訂版変更 1、2、3、4、8、15セクションを更新しました

文書バージョンおよび発行/改訂日

改訂日 (年/月/日) 2023/12/29
 最終改訂日 (年/月/日) 2023/10/04
 文書ID: A32645-75
 バージョン: AN

危険有害性分類法

この混合物は、ヒトの健康および環境への有害性に関する計算方法を使用して分類されました。物理的有害性は、仕様に基づいて決定されました。

セクション3の危険有害性分類と危険有害性情報の記述

Acute Tox. Dermal 4 - 急性経皮毒性、カテゴリ4
 Acute Tox. Inhal. 4 - 急性吸入毒性、カテゴリ4
 急性毒性 (経口) 4 - 急性毒性 (経口)、区分4
 眼の損傷性1 - 眼の損傷性区分1
 長期水生毒性2 - 水生環境有害性 (長期間)、区分2
 Aquatic Longterm 3 - 水生環境有害性 (長期間)、カテゴリ3
 皮膚腐食性1C - 皮膚腐食性区分1C
 H302 - 飲み込むと有害。
 H312 - 皮膚に触れると有害。
 H314 - 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。
 H318 - 重篤な眼の損傷。
 H332 - 吸入すると有害。
 H411 - 長期継続的影響により水生生物に毒性。
 H412 - 長期継続的影響により水生生物に有害。

略語及び頭字語

ACGIH—アメリカ産業衛生専門家会議 (ACGIH)
 ADR/RID—ヨーロッパ道路鉄道危険物運送条約
 CLP—分類、表示および包装
 DFGMAK— (独) 曝露許容濃度
 EC50—環境培地中のある物質の濃度が、テスト生物の50%に一定の効果をもたらすと予想される濃度
 GHS—化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS)
 HCS—危険有害性周知基準
 IARC—国際がん研究機関
 IATA DGR—国際航空運送協会航空危険物規則書
 ICAO—国際民間航空機関
 IDLH—生命および健康に対して急性の有害影響を及ぼす

16 その他の情報 (続き)

IMDG—国際海上危険物規定
IMO—国際海事機関
IOELVs—欧州連合職業曝露限度指針値
LC50—水生生物に死亡を引き起こす (テスト個体数の50%) 水中の物質濃度
LD50—致死量50%
NIOSH—国立労働安全衛生研究所
NTP—米国国家毒性プログラム
OSHA—労働安全衛生局
PBT—生物蓄積性及び有毒性物質
PEL—許容曝露限度
SARA—スーパーファンド法修正・再授權法
STEL—短期的曝露限度
STLV—短期的限度値
STV—短期値
TDG—カナダ危険物輸送規則
TLV—閾値
TWA—時間荷重平均濃度
UN GHS—国連世界調和システム
US DOT—米国運輸省
US OSHA—米国労働安全衛生局
vPvB—残留性および蓄積性が極めて高い物質
WHMIS—作業場危険有害性物質情報システム

ここに記載されているBeckman Coulter、ロゴマーク、ならびにベックマン・ コールターの製品およびサービスマークは、ベックマン・ コールターの米国およびその他の国における商標と登録商標です。

詳細はお近くの Beckman Coulter, Inc. 代理店までお問い合わせください。

は BECKMAN COULTER, INC. はここに記載した内容は有効かつ正確であると考えていますが、BECKMAN COULTER, INC. 有効性、正確性、あるいは適用性を保証もしくは明言するものではありません。BECKMAN COULTER, INC. 当社はこの内容または製品の使用に関し、法的責任もしくは他のいかなる責任も負うものではありません。危険有害物質の廃棄は地域ごとの法律、規則により規制されることがあります。



安全性データシート

文書ID: A32645-75 バージョン AN
改訂日 (年/月/日) 2023/12/29
最終改訂日 (年/月/日) 2023/10/04

1. 化学品及び会社情報

製品特定名

製品名

蛋白分解酵素 K

製品番号

P/Nの構成 A32645

物質 / 混合物の関連用途及び推奨されない用途

製品の使用

体外診断用医薬品以外。

本安全性データシートの供給者の詳細情報

製造業者

Beckman Coulter, Inc.
250 S. Kraemer Blvd
Brea, CA 92821, U.S.A.
Tel: 800-854-3633

サプライヤ

日本
ベックマン・コルター株式会社
135-0063
東京都江東区有明3-5-7 TOC有明ウ
エストタワー
電話番号: +81 0120 566 730

e-mail アドレス

SDSNT@beckman.com

緊急時電話番号

電話番号(24時間対応)

Chemtrec 緊急連絡電話番号 米国 800-424-9300、国際電話 (001) 703-527-3887

販売業者および緊急時の連絡先

最寄りの営業所および緊急電話番号に関しては別紙一覧表 (書類番号: [472050](#)) を参照してください。

日本
最寄りの保健所、消防機関、警察署
電話番号: 最寄りの保健所、消防機関、警察署の番号

2 危険有害性の要約

物質 / 混合物の分類

製品説明

混合物

2 危険有害性の要約 (続き)

白; 粉末; 無臭

EC 1272/2008 (CLP/GHS)による分類

皮膚刺激性 区分 2, H315
呼吸器感作性 区分 1, H334
特定標的臓器毒性 単回ばく露 区分 3, H335
眼刺激性 区分 2, H319

US-OSHA (HCS 29 CFR 1910.1200)およびUN GHSによる分類

皮膚刺激性 区分 2
呼吸器感作性 区分 1
特定標的臓器毒性 単回ばく露 区分 3
眼刺激性 区分 2

ラベル要素

EC 1272/2008 (CLP/GHS)、US-OSHA、およびUN GHSに準拠 危険有害成分

蛋白分解酵素 K

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H315 皮膚刺激。
H319 強い眼刺激。
H334 吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ。
H335 呼吸器への刺激のおそれ。

危険有害性情報

予防

P261 蒸気の吸入を避けること。
P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。
P284 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。

反応

P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
P304+P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P305+P351+P338 目に入った場合: 水で数分間注意深く洗ってください。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
P312 気分が悪い時は医師に連絡すること。
P332+P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
P342+P311 呼吸に関する症状が出た場合: 「中毒センター」または医師に連絡してください。
P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、使用前に洗濯をしてください。

2 危険有害性の要約 (続き)

保存

P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P405 施錠して保管すること。

廃棄

P501 地域/国の規制にしたがって内容物/容器を廃棄すること。
製品ラベルには非常に重大な危険有害性情報が表示されます。

他の危険有害性

PBTおよびvPvB評価の結果

PBT：該当しない。

vPvB：該当しない。

健康に関する詳細はセクション11の毒物に関する情報を参照してください。

3 組成及び成分情報

混合物		純粋成分の災害分類		
危険有害成分:		EU 1272/2008 CLP/GHS	GHS	注記
化学物質名	重量による%			
蛋白分解酵素 K CAS番号 39450-01-6 EINECS # 254-457-8 インデックス番号 情報なし	> 90	Resp. Sens. 1, H334 STOT SE 3, H335 皮膚刺激性2, H315 眼刺激性2, H319	Resp. Sens. 1, H334 STOT SE 3, H335 皮膚刺激性2, H315 眼刺激性2, H319	

職業ばく露限界についてはセクション8参照
その他の規制情報についてはセクション15参照
危険有害性分類と危険有害性情報の記述については、セクション16を参照

4 応急措置

応急措置についての記述

吸入した場合

もし本品を吸入した場合、吸入者を空気の新鮮な場所へ移動させてください。呼吸をしていない場合、訓練を受けた人物による人工呼吸を行い、すぐに医師の手当を受けてください。

目に入った場合

もし本品が目に入った場合、緩やかな水道水で15分以上まぶたを開けて目を洗ってください。痛みや刺激が生じた場合は、医師の診察/手当を受けてください。

皮膚についた場合

皮膚に付いた場合は、大量の水で洗い流してください。汚染された衣服および靴は脱いでください。痛みや刺激が生じた場合は、医師の診察/手当を受けてください。

飲み込んだ場合

もし本品を飲み込んだ場合、水で口をすすいでください。刺激や不快感が生じた場合は、すぐに医師の手当を受けてください。

4 応急措置 (続き)

急性及び遅延性の最も重要な症状/影響

皮膚刺激。
強い眼刺激。
吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ。
呼吸器への刺激のおそれ。
健康に関する詳細はセクション11の毒物に関する情報を参照してください。

応急処置及び必要とされる特別な処置の指示

追加の関連情報なし。セクション4.1参照。

5 火災時の措置

消火剤

火災では二酸化炭素 (CO₂)、粉末消火剤、噴霧水または泡消火剤を用いる。
大規模火災では周辺火災に適した消化剤を用いる。

物質 / 混合物から生じる特別な危険有害性 特別な火災及び爆発危険性

特別な危険有害性は確認されていません。

有害燃焼生成物

本製品からは重大な危険性のある燃焼生成物は発生しません。

消火作業員への注意

保護具

すべての薬品火災では消防隊員に自給式の呼吸装置を推奨します。

その他の情報

追加の関連情報なし。

6 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具及び緊急時措置

人体に対する予防措置

防護のための一般安全ガイドラインを遵守してください。目および皮膚に触れないようにしてください。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。

環境に対する予防措置

漏出液を容器に回収し、他への流出を防いでください。
未希釈製品が下水、地表水又は地下水に入らないようにしてください。

6 漏出時の措置 (続き)

封じ込め及び浄化方法と機材

流出および漏出時の措置

製品が固体または凍結乾燥状態の場合、こぼれた物質は吸引するか注意して掃き集めて適切な廃棄用容器に入れてください。粉塵を発生させないようにしてください。

本製品が液状の場合、流出した物質は適切な不活性の非可燃性吸収剤で吸収し、定められた規則に従い廃棄してください。

廃棄物はすべて、現地のガイドラインに従って処分してください。

他のセクションへの参照

セクション8 および13を参照してください。

7 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置 安全基準に従ってください。目や皮膚に触れないようにしてください。

混触危険性等、安全な保管条件

製品の品質を維持するため製品ラベルの記載内容に従い保存してください。強酸、強塩基、強酸化剤および不適合物質から離して保管してください (セクション10)。

特定の最終用途

追加の関連情報なし。

8 ばく露防止及び保護措置

管理指標

許容濃度

米国 OSHA 未設定

ACGIH 未設定

ACGIH 生物学的曝露指標 (BEI) 未設定

DFG MAK 未設定

アイルランド 未設定

IOELVs 未設定

NIOSH 未設定

中国 未設定

クロアチア 未設定

Japan 未設定

スウェーデン (AFS 2015:7および修正案) 未設定

8 ばく露防止及び保護措置 (続き)

トルコ	未設定
ばく露防止 設備対策	特に技術的な制御は必要ありません。良好な通常の換気を使用してください。
眼の保護具	目に入らないように保護眼鏡を着用してください。 U.S. OSHA 29 CFR 1910.133、欧州規格 EN166 又は適切な政府規格を参照。
皮膚の保護具	Nitrileまたはそれと同等の不浸透性の手袋および保護衣を着用してください。 U.S. OSHA 29 CFR 1910.138、欧州規格 EN 374、EN 14605:2005+A1:2009、またはその他の適切な政府機関の規則を参照してください。
呼吸用保護具	通常の使用条件では、本品の使用には保護マスク等の制約はありませんが、換気が適切に行われず過剰量の暴露の恐れがある場合は、資格を有する専門家に保護マスク等の使用を相談してください。

9 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

外観等	粉末	密度および/または相対密度	未定・不明
色	白	溶解性	
臭い	無臭	水	混和
pH	適用外	有機溶媒	未定・不明
融点	未定・不明	分配係数 n-オクタノール/水 (対数 値)	未定・不明
沸点または初留点および 沸点範囲	未定・不明	自然発火温度	適用外
引火点	適用外	分解温度	未定・不明
可燃性	適用外	蒸気圧	未定・不明
		動粘度	未定・不明
爆発下限界と爆発上限界	適用外		
相対蒸気密度	未定・不明		
粒子特性	未定・不明		
その他の情報			
身体的危険性の分類に関する情報	追加の関連情報なし。		

9 物理的及び化学的性質 (続き)

その他の安全性特性

追加の関連情報なし。

10 安定性及び反応性

反応性

追加の関連情報なし。

化学的安定性

本品は推奨する保管条件で安定です。

危険有害反応性の可能性

追加の関連情報なし。

避けるべき条件

製品の性能を維持するために、強酸や強塩基、強酸化剤から遠ざけてください。熱や直射日光に触れないようにしてください。

混触危険物質

追加の関連情報なし。

危険有害性のある分解生成物

ラベルの記載に従い保存した場合、本品の有効期間中には既知の危険有害物質を生成することはありません。

11 有害性情報

危険性クラスに関する情報

危険有害成分の毒性データ

適用外

被曝の主要経路

目との接触、摂取、吸入、および皮膚接触。

急性毒性

入手可能なデータによる分類対象外です。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷性

強い眼刺激。

呼吸器感作性または皮膚感作性

吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ。

生殖細胞変異原性

入手可能なデータによる分類対象外です。

発がん性

ACGIH (米国産業衛生専門家会議)、IARC (国際がん研究機関)、NTP (米国国家毒性プログラム)、OSHAまたは1272/2008/EC規則において、本品の成分は発癌物質として記載されていません。

生殖毒性

入手可能なデータによる分類対象外です。

特定標的臓器毒性 (STOT) – 単回ばく露

呼吸器への刺激のおそれ。

11 有害性情報 (続き)

特定標的臓器毒性 (STOT) – 反復ばく露

入手可能なデータによる分類対象外です。

吸引性呼吸器有害性

入手可能なデータによる分類対象外です。

その他の危険性に関する情報

内分泌攪乱特性

本製品には、REACH第57(f)条に基づき、健康に関して、内分泌攪乱特性を有する物質は含まれていません。

その他の情報

追加の関連情報なし。

12 環境影響情報

毒性

淡水生物種

情報なし

マイクロトックス/菌

情報なし

ミジンコ

情報なし

淡水藻類

情報なし

残留性と分解性

本品では未定。

生体蓄積性

本品では未定。

土壌中の移動度

本品では未定。

PBT及びvPvB評価の結果

本品では未定。PBT (難分解性、生体蓄積性、毒性を有する物質) : 該当しない、vPvB (極めて難分解性、高い生物蓄積性を有する物質) : 該当しない。

内分泌攪乱特性

本製品には、REACH第57(f)条に基づき、環境に関して、内分泌攪乱特性を有する物質は含まれていません。

他の有害影響

追加の関連情報なし。

13 廃棄上の注意

廃棄物処理方法

製品廃棄物の処分

化学残留物や残った化学薬品は、常に特別廃棄物として処理してください。必ず、現地の公害防止法および該当する法令に従って処分してください。現地

その他の情報

の該当局、または認可を得た廃棄物処理会社に問い合わせて、確実に法令を順守してください。

欧州廃棄物カタログ 18 01 07 : 18 01 06 に記載されている化学品以外の化学品。国、州および地方の関係法規に従って廃棄する。

14 輸送上の注意

本品は ICAO、IATA DGR、IMDG、US DOT、欧州 ADR および RID、またはカナダ TDG での輸送上の規制はありません。

14.1 UN/ID 番号 : 輸送上の規制はありません

14.2 UN 正式品名 : 輸送上の規制はありません

14.3 輸送時の危険性クラス : 輸送上の規制はありません

14.4 包装グループ : 輸送上の規制はありません

14.5 環境有害物質 : 輸送上の規制はありません

14.6 ユーザー向けの特別な予防措置 : なし

14.7 IMO 規則に則ったばらでの海上輸送 : 適用外

15 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則 / 法規 米国連邦および州の規則

SARA 313 (セクション 313、タイトル III 報告要件)

成分の記載はありません。

CERCLA - The Comprehensive Environmental Response, Compensation, and Liability Act (CERCLA - 包括的環境対策・補償・責任法) 40 CFR 302.4

成分の記載はありません。

California Proposition 65

がんを引き起こすことがカリフォルニア州で知られている化学物質

成分の記載はありません。

発生毒性を引き起こすことがカリフォルニア州で知られている化学物質

成分の記載はありません。

男性に対する生殖毒性を引き起こすことがカリフォルニア州で知られている化学物質

成分の記載はありません。

女性に対する生殖毒性を引き起こすことがカリフォルニア州で知られている化学物質

成分の記載はありません。

15 適用法令 (続き)

マサチューセッツ州有害物質「Right To Know」(RTK) リスト

成分の記載はありません。

ニュージャージー州保健局有害物質「Right To Know」(RTK) リスト

成分の記載はありません。

ペンシルバニア州有害物質「Right To Know」(RTK) リスト

成分の記載はありません。

EU 規則

このSDSは、EC規則 1907/2006(REACH)及び改正に準拠します。

爆発性前駆体の販売および使用に関する規則 (EU) 2019/1148 - 疑わしい取引の報告対照物質

成分の記載はありません。

爆発性前駆体の販売および使用に関する規則 (EU) 2019/1148 - 制限対象の爆発性前駆体

成分の記載はありません。

REACH 1907/2006 EC - 高懸念物質 (SVHC) の候補リスト

成分の記載はありません。

REACH 1907/2006 EC - 附属書XVII - 特定の危険物質に対する制限事項

成分の記載はありません。

REACH 1907/2006 EC - 附属書XIV - 認可対象物質リスト

成分の記載はありません。

セクション3を参照

UK 規則

UK REACH 規則 (改正版に従う) - 認可対象物質リスト

セクション3を参照

カナダ

本製品は危険物質のWHMIS基準に準拠しています

中国

有害化学物質のカタログ - 有害化学物質

成分の記載はありません。

インベントリー - 中国 - 既存商業化学物質インベントリー (IECSC)

すべての成分がリストに記載されている、あるいは免除されています。

トルコ

15 適用法令 (続き)

トルコ-REACH - KKDİK 規則 - 附属書 17 - 制限事項

成分の記載はありません。

国際的

UN/FAO/ロッテルダム条約 - 事前通報・同意手続 (PIC) の対象となる化学物質

成分の記載はありません。

化学物質安全性評価

化学物質安全性評価が行われませんでした。

セクション15に記載の一部の有害成分は、セクション3の報告要件にある発癌性物質、突然変異原、生殖毒性物質のカットオフ値が0.1%、他の健康ハザードの値が1%未満です。

16 その他の情報

ベックマン・コールター安全基準	可燃性: 0 健康: 3 反応性: 0 物理的接触: 3	コード 0=なし 1=軽度 2=中等度 3=重度
-----------------	---------------------------------------	--------------------------------------

改訂版変更

1、2、3、4、8、15セクションを更新しました

文書バージョンおよび発行/改訂日

改訂日 (年/月/日) 2023/12/29
最終改訂日 (年/月/日) 2023/10/04
文書ID: A32645-75
バージョン: AN

危険有害性分類法

この混合物は、ヒトの健康および環境への有害性に関する計算方法を使用して分類されました。物理的有害性は、仕様に基づいて決定されました。

セクション3の危険有害性分類と危険有害性情報の記述

眼刺激性 - 眼刺激性区分2
Resp. Sens. 1 - 呼吸器感作性、カテゴリ1
皮膚刺激性2 - 皮膚刺激性区分2
STOT SE 3 - 特定標的臓器毒性 (単回暴露)、カテゴリ3
H315 - 皮膚刺激。
H319 - 強い眼刺激。
H334 - 吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ。
H335 - 呼吸器への刺激のおそれ。

16 その他の情報 (続き)

略語及び頭字語

ACGIH—アメリカ産業衛生専門家会議 (ACGIH)
ADR/RID—ヨーロッパ道路鉄道危険物運送条約
CLP—分類、表示および包装
DFGMAK— (独) 曝露許容濃度
EC50—環境培地中のある物質の濃度が、テスト生物の50%に一定の効果をもたらすと予想される濃度
GHS—化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS)
HCS—危険有害性周知基準
IARC—国際がん研究機関
IATA DGR—国際航空運送協会航空危険物規則書
ICAO—国際民間航空機関
IDLH—生命および健康に対して急性の有害影響を及ぼす
IMDG—国際海上危険物規定
IMO—国際海事機関
IOELVs—欧州連合職業曝露限度指針値
LC50—水生生物に死亡を引き起こす (テスト個体数の50%) 水中の物質濃度
LD50—致死量50%
NIOSH—国立労働安全衛生研究所
NTP—米国国家毒性プログラム
OSHA—労働安全衛生局
PBT—生物蓄積性及び有毒性物質
PEL—許容曝露限度
SARA—スーパーファンド法修正・再授權法
STEL—短期的曝露限度
STLV—短期的限度値
STV—短期値
TDG—カナダ危険物輸送規則
TLV—閾値
TWA—時間荷重平均濃度
UN GHS—国連世界調和システム
US DOT—米国運輸省
US OSHA—米国労働安全衛生局
vPvB—残留性および蓄積性が極めて高い物質
WHMIS—作業場危険有害性物質情報システム

ここに記載されているBeckman Coulter、ロゴマーク、ならびにベックマン・ コールターの製品およびサービスマークは、ベックマン・ コールターの米国およびその他の国における商標と登録商標です。

詳細はお近くの Beckman Coulter, Inc. 代理店までお問い合わせください。

は BECKMAN COULTER, INC. はここに記載した内容は有効かつ正確であると考えていますが、BECKMAN COULTER, INC. 有効性、正確性、あるいは適用性を保証もしくは明言するものではありません。BECKMAN COULTER, INC. 当社はこの内容または製品の使用に関し、法的責任もしくは他のいかなる責任も負うものではありません。危険有害物質の廃棄は地域ごとの法律、規則により規制されることがあります。



安全性データシート

文書ID: A32645-75 バージョン AN

改訂日 (年/月/日) 2023/12/29

最終改訂日 (年/月/日) 2023/10/04

1. 化学品及び会社情報

製品特定名

製品名

PK Buffer

製品番号

P/Nの構成 A32645

物質 / 混合物の関連用途及び推奨されない用途

製品の使用

体外診断用医薬品以外。

本安全性データシートの供給者の詳細情報

製造業者

Beckman Coulter, Inc.
250 S. Kraemer Blvd
Brea, CA 92821, U.S.A.
Tel: 800-854-3633

サプライヤ

日本
ベックマン・コールター株式会社
135-0063
東京都江東区有明3-5-7 TOC有明ウ
エストタワー
電話番号: +81 0120 566 730

e-mail アドレス

SDSNT@beckman.com

緊急時電話番号

電話番号(24時間対応)

Chemtrec 緊急連絡電話番号 米国 800-424-9300、国際電話 (001) 703-527-3887

販売業者および緊急時の連絡先

最寄りの営業所および緊急電話番号に関しては別紙一覧表 (書類番号: [472050](#)) を参照してください。

日本
最寄りの保健所、消防機関、警察署
電話番号: 最寄りの保健所、消防機関、警察署の番号

2 危険有害性の要約

物質 / 混合物の分類

製品説明

混合物

2 危険有害性の要約 (続き)

無色; 液体; 無臭

EC 1272/2008 (CLP/GHS)による分類

EC 1272/2008 (CLP/GHS)で危険物に分類されていない

US-OSHA (HCS 29 CFR 1910.1200)およびUN GHSによる分類

US-OSHA HCS 2012およびUN GHSで危険物に分類されていない

ラベル要素

EC 1272/2008 (CLP/GHS)、US-OSHA、およびUN GHSに準拠

他の危険有害性

EC 1272/2008 (CLP/GHS)、US-OSHAおよびGHSで危険物に分類されていない

PBTおよびvPvB評価の結果

PBT: 該当しない。

vPvB: 該当しない。

健康に関する詳細はセクション11の毒物に関する情報を参照してください。

3 組成及び成分情報

混合物

危険有害成分:

なし

4 応急措置

応急措置についての記述

吸入した場合

もし本品を吸入した場合、吸入者を空気の新鮮な場所へ移動させてください。呼吸をしていない場合、訓練を受けた人物による人工呼吸を行い、すぐに医師の手当を受けてください。

目に入った場合

もし本品が目に入った場合、念のため緩やかな水道水で目を洗ってください。

皮膚についた場合

皮膚に付いた場合は、念のため水で洗い流してください。

飲み込んだ場合

もし本品を飲み込んだ場合、水で口をすすいでください。刺激や不快感が生じた場合は、すぐに医師の手当を受けてください。

急性及び遅延性の最も重要な症状/影響

有害な症状又は影響は確認されていません。

応急処置及び必要とされる特別な処置の指示

特別な治療や処置は必要ありません。

5 火災時の措置

消火剤

火災では二酸化炭素 (CO₂)、粉末消火剤、噴霧水または泡消火剤を用いる。大規模火災では周辺火災に適した消化剤を用いる。

物質 / 混合物から生じる特別な危険有害性

5 火災時の措置 (続き)

特別な火災及び爆発危険性

特別な危険有害性は確認されていません。

有害燃焼生成物

本製品からは重大な危険性のある燃焼生成物は発生しません。

消火作業員への注意

保護具

すべての薬品火災では消防隊員に自給式の呼吸装置を推奨します。

その他の情報

追加の関連情報なし。

6 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具及び緊急時措置

人体に対する予防措置

特別な注意事項はありません。安全基準に従ってください。

環境に対する予防措置

漏出液を容器に回収し、他への流出を防いでください。
未希釈製品が下水、地表水又は地下水に入らないようにしてください。

封じ込め及び浄化方法と機材

流出および漏出時の措置

流出した物質は適切な不活性の非可燃性吸収剤で吸収し、定められた基準に従い廃棄してください。

他のセクションへの参照

セクション8 および13を参照してください。

7 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置 特別な注意事項はありません。一般的な安全手順に従ってください。

混触危険性等、安全な保管条件

製品の品質を維持するため製品ラベルの記載内容に従い保存してください。
強酸、強塩基、強酸化剤および不適合物質から離して保管してください (セクション10)。

特定の最終用途

追加の関連情報なし。

8 ばく露防止及び保護措置

管理指標

許容濃度

米国 OSHA

未設定

ACGIH

未設定

ACGIH 生物学的曝露指標 (BEI)

未設定

8 ばく露防止及び保護措置 (続き)

DFG MAK	未設定
アイルランド	未設定
IOELVs	未設定
NIOSH	未設定
中国	未設定
クロアチア	未設定
Japan	未設定
スウェーデン (AFS 2015:7および修正案)	未設定
トルコ	未設定

ばく露防止

設備対策

特に技術的な制御は必要ありません。良好な通常の換気を使用してください。

眼の保護具

目に入らないように保護眼鏡を着用してください。

U.S. OSHA 29 CFR 1910.133、欧州規格 EN166 又は適切な政府規格を参照。

皮膚の保護具

必要に応じて、保護衣および不浸透性の手袋を着用してください。

呼吸用保護具

通常の状態本品を使用する場合には呼吸保護は必要ありません。

9 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

外観等	液体	密度および/または相対密度	未定・不明
色	無色	溶解性	
臭い	無臭	水	混和
pH	7.0 - 8.5	有機溶媒	未定・不明
氷点 / 氷結点 / 凝固点	未定・不明	分配係数 n-オクタノール/水 (対数値)	未定・不明
沸点または初留点および 沸点範囲	未定・不明	自然発火温度	適用外
引火点	適用外	分解温度	未定・不明
可燃性	適用外	蒸気圧	未定・不明

9 物理的及び化学的性質 (続き)

	動粘度	未定・不明
爆発下限界と爆発上限界	適用外	
相対蒸気密度	未定・不明	
粒子特性	適用外	
その他の情報		
身体的危険性の分類に関する情報	追加の関連情報なし。	
その他の安全性特性	追加の関連情報なし。	

10 安定性及び反応性

反応性	追加の関連情報なし。
化学的安定性	本品は推奨する保管条件で安定です。
危険有害反応性の可能性	追加の関連情報なし。
避けるべき条件	製品の性能を維持するために、強酸や強塩基、強酸化剤から遠ざけてください。熱や直射日光に触れないようにしてください。
混触危険物質	追加の関連情報なし。
危険有害性のある分解生成物	ラベルの記載に従い保存した場合、本品の有効期間中には既知の危険有害物質を生成することはありません。

11 有害性情報

危険性クラスに関する情報	
危険有害成分の毒性データ	適用外
被曝の主要経路	目との接触、摂取、吸入、および皮膚接触。
急性毒性	入手可能なデータによる分類対象外です。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	入手可能なデータによる分類対象外です。
眼に対する重篤な損傷性	入手可能なデータによる分類対象外です。
呼吸器感作性または皮膚感作性	入手可能なデータによる分類対象外です。

11 有害性情報 (続き)

生殖細胞変異原性	入手可能なデータによる分類対象外です。
発がん性	ACGIH (米国産業衛生専門家会議)、IARC (国際がん研究機関)、NTP (米国国家毒性プログラム)、OSHAまたは1272/2008/EC規則において、本品の成分は発癌物質として記載されていません。
生殖毒性	入手可能なデータによる分類対象外です。
特定標的臓器毒性 (STOT) – 単回ばく露	入手可能なデータによる分類対象外です。
特定標的臓器毒性 (STOT) – 反復ばく露	入手可能なデータによる分類対象外です。
吸引性呼吸器有害性	入手可能なデータによる分類対象外です。
その他の危険性に関する情報	
内分泌攪乱特性	本製品には、REACH第57(f)条に基づき、健康に関して、内分泌攪乱特性を有する物質は含まれていません。
その他の情報	追加の関連情報なし。

12 環境影響情報

毒性	
淡水生物種	情報なし
マイクロトックス/菌	情報なし
ミジンコ	情報なし
淡水藻類	情報なし
残留性と分解性	本品では未定。
生体蓄積性	本品では未定。
土壌中の移動度	本品では未定。
PBT及びvPvB評価の結果	本品では未定。PBT (難分解性、生体蓄積性、毒性を有する物質) : 該当しない、vPvB (極めて難分解性、高い生物蓄積性を有する物質) : 該当しない。

12 環境影響情報 (続き)

内分泌攪乱特性

本製品には、REACH第57(f)条に基づき、環境に関して、内分泌攪乱特性を有する物質は含まれていません。

他の有害影響

追加の関連情報なし。

13 廃棄上の注意

廃棄物処理方法

製品廃棄物の処分

化学残留物や残った化学薬品は、常に特別廃棄物として処理してください。必ず、現地の公害防止法および該当する法令に従って処分してください。現地の該当局、または認可を得た廃棄物処理会社に問い合わせ、確実に法令を順守してください。

その他の情報

欧州廃棄物カタログ18 01 07 : 18 01 06に記載されている化学品以外の化学品。国、州および地方の関係法規に従って廃棄する。

14 輸送上の注意

本品はICAO、IATA DGR、IMDG、US DOT、欧州ADRおよびRID、またはカナダTDGでの輸送上の規制はありません。

- 14.1 UN/ID番号：輸送上の規制はありません
- 14.2 UN 正式品名：輸送上の規制はありません
- 14.3 輸送時の危険性クラス：輸送上の規制はありません
- 14.4 包装グループ：輸送上の規制はありません
- 14.5 環境有害物質：輸送上の規制はありません
- 14.6 ユーザー向けの特別な予防措置：なし
- 14.7 IMO規則に則ったばらでの海上輸送：適用外

15 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則 / 法規 米国連邦および州の規則

SARA 313 (セクション313、タイトルIII 報告要件)

成分の記載はありません。

CERCLA - The Comprehensive Environmental Response, Compensation, and Liability Act(CERCLA - 包括的環境対策・補償・責任法)40 CFR 302.4

成分の記載はありません。

15 適用法令 (続き)

California Proposition 65

がんを引き起こすことがカリフォルニア州で知られている化学物質

成分の記載はありません。

発生毒性を引き起こすことがカリフォルニア州で知られている化学物質

成分の記載はありません。

男性に対する生殖毒性を引き起こすことがカリフォルニア州で知られている化学物質

成分の記載はありません。

女性に対する生殖毒性を引き起こすことがカリフォルニア州で知られている化学物質

成分の記載はありません。

マサチューセッツ州有害物質「Right To Know」(RTK) リスト

CAS番号 56-81-5 グリセロール

ニュージャージー州保健局有害物質「Right To Know」(RTK) リスト

CAS番号 56-81-5 グリセロール

ペンシルバニア州有害物質「Right To Know」(RTK) リスト

CAS番号 56-81-5 グリセロール

EU 規則

このSDSは、EC規則 1907/2006(REACH)及び改正に準拠します。

水質有害性等級 (ドイツ)

WGK 1、水質に対してわずかに有害

爆発性前駆体の販売および使用に関する規則 (EU) 2019/1148 - 疑わしい取引の報告対照物質

成分の記載はありません。

爆発性前駆体の販売および使用に関する規則 (EU) 2019/1148 - 制限対象の爆発性前駆体

成分の記載はありません。

REACH 1907/2006 EC - 高懸念物質 (SVHC) の候補リスト

成分の記載はありません。

REACH 1907/2006 EC - 附属書XVII - 特定の危険物質に対する制限事項

適用外。

REACH 1907/2006 EC - 附属書XIV - 認可対象物質リスト

成分の記載はありません。

セクション3を参照

15 適用法令 (続き)

UK規則

UK REACH規則 (改正版に従う) - 認可対象物質リスト

セクション3を参照

カナダ

本品は危険物としてのWHMISの基準に該当しません。

中国

有害化学物質のカタログ - 有害化学物質

成分の記載はありません。

インベントリー - 中国 - 既存商業化学物質インベントリー (IECSC)

すべての成分がリストに記載されている、あるいは免除されています。

トルコ

トルコ-REACH - KKDİK 規則 - 附属書 17 - 制限事項

成分の記載はありません。

国際的

UN/FAO/ロッテルダム条約 - 事前通報・同意手続 (PIC) の対象となる化学物質

成分の記載はありません。

化学物質安全性評価

化学物質安全性評価が行われませんでした。

セクション15に記載の一部の有害成分は、セクション3の報告要件にある発癌性物質、突然変異原、生殖毒性物質のカットオフ値が0.1%、他の健康ハザードの値が1%未満です。

16 その他の情報

ベックマン・コールター安全基準	可燃性: 0 健康: 1 反応性: 0 物理的接触: 1	コード 0=なし 1=軽度 2=中等度 3=重度
改訂版変更 文書バージョンおよび発行/改訂日	1、2、3、4、8、15セクションを更新しました 改訂日 (年/月/日) 2023/12/29 最終改訂日 (年/月/日) 2023/10/04 文書ID: A32645-75 バージョン: AN	
危険有害性分類法	この混合物は、ヒトの健康および環境への有害性に関する計算方法を使用して分類されました。物理的有害性は、仕様に基づいて決定されました。	

16 その他の情報 (続き)

略語及び頭字語

ACGIH—アメリカ産業衛生専門家会議 (ACGIH)
ADR/RID—ヨーロッパ道路鉄道危険物運送条約
CLP—分類、表示および包装
DFGMAK—(独)曝露許容濃度
EC50—環境培地中のある物質の濃度が、テスト生物の50%に一定の効果をもたらすと予想される濃度
GHS—化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS)
HCS—危険有害性周知基準
IARC—国際がん研究機関
IATA DGR—国際航空運送協会航空危険物規則書
ICAO—国際民間航空機関
IDLH—生命および健康に対して急性の有害影響を及ぼす
IMDG—国際海上危険物規定
IMO—国際海事機関
IOELVs—欧州連合職業曝露限度指針値
LC50—水生生物に死亡を引き起こす (テスト個体数の50%) 水中の物質濃度
LD50—致死量50%
NIOSH—国立労働安全衛生研究所
NTP—米国国家毒性プログラム
OSHA—労働安全衛生局
PBT—生物蓄積性及び有毒性物質
PEL—許容曝露限度
SARA—スーパーファンド法修正・再授權法
STEL—短期的曝露限度
STLV—短期的限度値
STV—短期値
TDG—カナダ危険物輸送規則
TLV—閾値
TWA—時間荷重平均濃度
UN GHS—国連世界調和システム
US DOT—米国運輸省
US OSHA—米国労働安全衛生局
vPvB—残留性および蓄積性が極めて高い物質
WHMIS—作業場危険有害性物質情報システム

ここに記載されているBeckman Coulter、ロゴマーク、ならびにベックマン・コルターの商品およびサービスマークは、ベックマン・コルターの米国およびその他の国における商標と登録商標です。

詳細はお近くの Beckman Coulter, Inc. 代理店までお問い合わせください。

は BECKMAN COULTER, INC. はここに記載した内容は有効かつ正確であると考えていますが、BECKMAN COULTER, INC. 有効性、正確性、あるいは適用性を保証もしくは明言するものではありません。BECKMAN COULTER, INC. 当社はこの内容または製品の使用に関し、法的責任もしくは他のいかなる責任も負うものではありません。危険有害物質の廃棄は地域ごとの法律、規則により規制されることがあります。